研究課題名

当院における最近15年間の*Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis, S.pyogenes, S.agalactiae*菌血症の臨床的検討：単施設後方視的観察研究

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第12号）

後方視的観察研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院感染症内科では、下記の研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成29　年　5月　8日

【研究課題名】

当院における最近15年間の*Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis, S.pyogenes, S.agalactiae*菌血症の臨床的検討：単施設後方視的観察研究

【研究期間】

2017年5月から2017年10月

【調査対象】

2002年1月～2016年12月にβ溶血性連鎖球菌（*Streptococcus dysgalactiae ssp. equisimilis*（G群溶連菌）*, S.pyogenes*（A群溶連菌）*, S.agalactiae*（B群溶連菌））が血液培養から検出され, 入院治療された方

【研究目的・意義】

β溶血性連鎖球菌による重症感染症は、近年増加傾向にあるとされ、再度注目されている感染症です。実際、当院でもここ数年で非常に増加しております。過去、菌血症症例についてこれら3種類の起因菌を比較・検討した報告は少なく、臨床的特徴が十分に明らかにされているとは言えません。

β溶血性連鎖球菌の臨床的特徴を、患者背景、感染巣、基礎疾患、症状、治療、予後を明らかにすることで、今後の診療に生かせる知見を得たいと考えています。

【研究の方法】

　過去の診療録（カルテ）から得られるデータのみを収集し、分析を行います。研究対象の方に新たな介入（検査・治療など）の依頼などを行うことはありません。

【個人情報の取扱い】

研究に用いられるデータは収集する段階で匿名化され、名前や住所などの個人情報を抽出することはありません。今回の研究で得られた結果は、国際学会や学術雑誌等で報告する予定ですが、その場合はすべて集積した数値のみを提示するため、個人を特定できるような情報を報告することはありません。また、本研究の目的以外に、得られた研究対象者のデータを使用することはありません。

【研究機関】

沖縄県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 感染症内科 高倉俊一（Shunichi Takakura）

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281　電話：098-973-4111（内線2749）